

6月1日現在

前月比
 人口 75,262 (-82)
 {男 35,991}
 {女 39,271}
 世帯数 20,064 (+3)

おおだて

7月号 (No. 192)

● 編集と発行 — 大館市役所 (電話) 2-1212
 ● 発行年月日 — 昭和48年7月1日
 ● 発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

● 昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

有浦スポーツ館完成

市内に初の無料スポーツ館が有浦小学校前に完成し、さる6月16日、石川市長はじめ、スポーツ関係者ら多数出席して、この完成を祝いました。

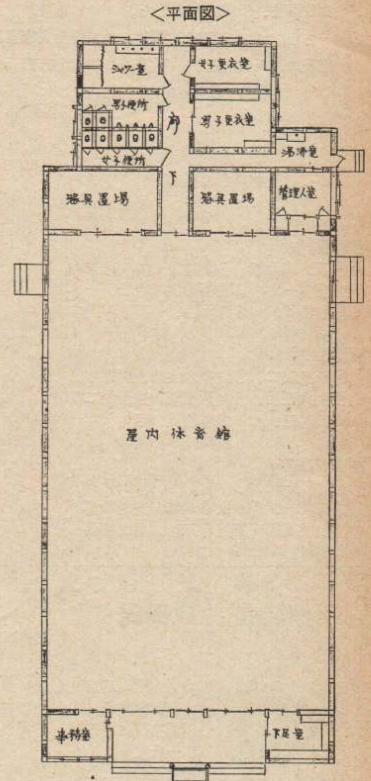
この有浦スポーツ館は、ママさんバレーなど、市内におけるスポーツ人口の増加に対処し、スポーツ愛好家の期待に応えたもので、建物は旧第三中学校の体育館を解体し、859万8,000円をかけて再建したものです。

館内の規模は、9人制バレーボールが辛じてできる程度の広さですから、決して広い面積とはいえませんが、附属施設として、男女の更衣室、シャワー室、器具置場が完備しておるほか、スポーツ関係の器具として大型のトランポリンなど25種も備えられており、体づくりには申し分ない施設といえます。

使用は6月17日から許可をしておりますので個人の体づくり、グループのスポーツ会にご利用いただければ幸いです



(写真) 完成した有浦スポーツ館



天然記念物

② 秋田犬

国指定 昭和6年7月31日指定

所在地 県北地区

管理者 秋田県



「大館といえば秋田犬、秋田犬といえば大館……」といわれるように、大館と秋田犬の絆は全国に知れわたっているところで、とくに、東大の農学博士、故山野英三郎氏の飼育した「忠犬ハチ公」(大正14年5月30日、東京渋谷で死亡)とその物語りは有名である。

秋田犬は、藩主時代から武士や豪農たちに番犬として飼育されていたもので、大館城主、佐竹侯はこの犬を斗犬によって武士の斗争心を養ったと伝えられ、斗犬熱は大館を中心として発達したので、大館犬ともいわれていた。

明治42年頃、斗犬熱が盛んになるにつれ、ただ、ケンカに強い犬であればよい、という風潮が起り、土佐犬の血が混るなどして、秋田の純粋味が危ぶまれるようになったため、昭和の初め、秋田犬は国犬として保存すべきであるという声が高まり、昭和2年、有志によって秋田犬の純粋種保存の基盤がつくられ、昭和6年7月31日、ついに、犬ではじめて国の天然記念物として指定を受けたのです。

秋田犬は、おとなしく忠実である。また、からだは堂々として品位と威厳があり、地味な中にも個性の強さが見られるという性質を有し、今では、全国はおろか、アメリカにも普及されるようになっている。

<購入した器具>

- 音響装置
- ジャンプメーター
- スリーマ
- チャミングマシン
- ベルトマッサージ器
- スタイリー
- チャイムサイクル
- ヘルスパンダー(10台)
- バイススクルトレーナー
- ローイングマシン
- エキサー
- 腹筋台
- 平均台
- トランポリン
- 鉄亜鈴10K(2組)
- ” 8K(2組)
- ” 5K(2組)
- 昇降運動用踏台(2台)
- マット(5枚)
- 卓球台(5台)
- バトミントン支柱
- バレーボール支柱
- 得点板
- 審判台

<使用申込など>

- ◆ 使用申し込先
市民体育館または有浦スポーツ館
- ◆ 使用できる時間
午前8時30分～午後9時
- ◆ 休館日
毎週月曜日と毎年12月29日から翌年1月3日まで
- ◆ 使用上の規制
スポーツ館は皆んなのものです。そのため、だれもがきれいな館内でスポーツを楽しめるように、つぎのような規制があります。
- ◆ 使用後は、使用箇所を清掃して管理人に引き渡すこと。
- ◆ 施設、器具をき損したときは、教育委員会に届けること。
- ◆ 許可なく、館内で寄付金の募集、物品の販売を行なわないこと。
- ◆ 伝染病患者、精神異状者、めいいてい者、危険物携帯者の入館を禁ずること。

社会を明るくする運動

社会を明るくする運動大館地区実施委員会が先に立って、7月1日から1カ月間行なわれるもので、青少年の非行防止と非行におちいった者の更生援助を広く市民の理解と協力を得て、促進しようとするものです。

……暖かいあなたの心が非行を防ぐ……